

平成16年10月18日

各 位

会社名 石原産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 田村 藤夫
(コード番号 4028 東証・大証各第一部)
問合せ先 取締役経営企画管理本部長
炭野 泰男
(TEL 06-6444-1850)

会社名 富士チタン工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松長 衛
(コード番号 4077 東証・大証各第二部)
問合せ先 取締役総務部長
木下 忠雄
(TEL 06-6441-6856)

石原産業株式会社による富士チタン工業株式会社の完全子会社化に関するお知らせ

石原産業株式会社(以下「石原産業」)および富士チタン工業株式会社(以下「富士チタン工業」)(2社を合わせて「両社」という)は、本日開催したそれぞれの取締役会において、株式交換により石原産業が富士チタン工業を完全子会社(石原産業の100%子会社)とすることを決議し、株式交換覚書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

1. 株式交換による完全子会社化の目的

富士チタン工業は酸化チタン事業と電子材料事業をコア事業として営む石原産業の関連会社(持株比率24.8%)で、東京証券取引所第二部と大阪証券取引所第二部に上場しております。

富士チタン工業の酸化チタン事業は、独自技術により化学繊維用において有力なサプライヤーとしてのポジションを確立しており、電子材料事業は積層セラミックコンデンサー(MLCC)向けチタン酸バリウムの特徴ある商品のサプライヤーとして、両無機化学事業をベースとして発展してまいりました。しかしながら、富士チタン工業は過去3年間、両事業を取り巻く事業環境の変化から業績の悪化を余儀なくされました。

このような事業環境の中、富士チタン工業は積極的な拡販、製造コストの削減、労務費等諸経費の圧縮に努め当期業績の黒字化が見込まれるまでに改善してきましたが、事業収益の本格的な改善には道半ばの状況にあります。

富士チタン工業は昭和41年以降、石原産業と旭化成株式会社の関連会社として経営してきましたが、富士チタン工業のコスト競争力や市場ニーズに対応した商品開発力などの競争力をさらに強化するためには、富士チタン工業が営む両事業との関わりが深い石原産業が、石原産業の保有する酸化チタン事業と機能材料事業との一元的事業運営を図り、生産・販売・技術開発の各面において連携して相乗効果を発現することが有力な方策と両社は判断いたしました。

両社は、このような状況を踏まえ、両社株主にとっての価値をさらに向上させることを目途として、石原産業による富士チタン工業の完全子会社化の実施及びこれを前提とした富士チタン工業の経営基盤の強化を図り、石原産業グループの企業価値向上を期すことといたしました。

2. 株式交換の条件等

(1) 株式交換の方式

富士チタン工業の株主は、石原産業が株式交換に際して発行する新株の割当を受けて石原産業の株主となり、その結果、富士チタン工業は石原産業の完全子会社となります。

(2) 株式交換の日程

平成 16 年 12 月上旬 (予定) 株式交換契約書の締結

平成 17 年 2 月上旬 (予定) 株式交換契約書承認臨時株主総会 (富士チタン工業)

平成 17 年 3 月 15 日 (予定) 株式交換の日

(注) 本株式交換は、商法第 358 条第 1 項の規定に基づき、石原産業においては株主総会の承認を得ることなく行なうものであります。

(3) 株式交換比率

株式交換比率については、第三者機関による算定書意見を参考にし、両社による協議の上、株式交換契約において別途定めることといたします。

(4) 株式交換により発行する株式数

株式交換契約において別途定めることといたします。

(5) 富士チタン工業が発行している優先株式について

富士チタン工業が発行している A 種優先株式 (発行総数 5,000,000 株) については、別途設定する富士チタン工業臨時株主総会基準日までに全株が普通株式に転換される予定であり、石原産業の保有分を除く転換後の普通株式に対して株式交換契約で定められる交換比率に従い割当が行なわれます。

3. 株式交換の当事会社の概要

(平成 16 年 3 月 31 日現在)

(1) 商号	石原産業株式会社 (完全親会社)	富士チタン工業株式会社 (完全子会社)
(2) 事業内容	酸化チタンを軸とする無機化学分野と農薬を軸とする有機化学分野における化学工業製品の製造・販売	酸化チタン及びチタン酸バリウムを軸とする無機化学分野における化学工業製品の製造・販売
(3) 設立年月	昭和 24 年 6 月 1 日	昭和 11 年 3 月 12 日
(4) 本店所在地	大阪市西区江戸堀一丁目 3 番 15 号	神戸市北区道場町生野 96 番地の 1
(5) 代表者	代表取締役社長 田村 藤夫	代表取締役社長 松長 衛
(6) 資本金	42,028 百万円	1,926 百万円
(7) 発行済株式総数	369,757,510 株	16,836,000 株
(8) 優先株式	-	5,000,000 株
(9) 株主資本	57,681 百万円	4,437 百万円
(10) 総資産	135,590 百万円	11,028 百万円
(11) 決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
(12) 従業員数	1,039 人	195 人
(13) 主要取引先	三井物産(株)、長瀬産業(株)	丸紅(株)、(株)村田製作所、西日本貿易(株)
(14) 大株主及び持株比率	三井物産(株) 11.35% (株)新生銀行 4.32% 日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口) 2.17% 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口) 1.81% 長瀬産業(株) 1.42%	石原産業(株) 24.80% 旭化成(株) 24.80% (株)三井住友銀行 1.37% 丸紅(株) 1.32% 富士チタン工業取引先持株会 1.01%

(15) 主要取引銀行	新生銀行、りそな銀行、三井住友銀行、 農林中央金庫、中央三井信託銀行	三井住友銀行、りそな銀行、宮崎銀行、 住友信託銀行、京都銀行
(16) 当事会社の関係 (平成16年6月30日現在)	資本関係	石原産業は富士チタン工業の発行済普通株式の24.8%並びにA種優先株式2,500千株を保有
	人的関係	石原産業から富士チタン工業へ取締役1名(兼任)監査役2名(兼任)を派遣
	取引関係	富士チタン工業は石原産業から製品並びに原材料を購入

(17) 最近3決算期間の業績

(単位:百万円)

決算期	石原産業株式会社 (完全親会社)			富士チタン工業株式会社 (完全子会社)		
	平成14年 3月期	平成15年 3月期	平成16年 3月期	平成14年 3月期	平成15年 3月期	平成16年 3月期
売上高	92,517	95,873	93,675	6,805	6,711	7,294
営業利益 又は営業損失()	7,604	8,480	9,009	179	419	83
経常利益 又は経常損失()	4,866	3,954	4,501	980	755	432
当期純利益 又は当期純損失()	1,832	1,350	3,638	903	1,226	1,243
1株当たり当期純利益 又は当期純損失()(円)	5.02	3.70	9.86	53.68	72.92	74.95
1株当たり配当金(円)	-	-	3.00	3.00	-	(普通株式) - (A種優先株式) 3.19
1株当たり株主資本(円)	119.32	125.32	137.80	347.91	278.20	204.09

(注) 石原産業の上記の数値は連結の数値です。

4. 株式交換後の状況

商号、事業内容、本店所在地、代表者等、当事会社各々について、現在のところ変更の予定はありません。

5. 株式交換後の連結業績見通し

富士チタン工業は従来石原産業の持分法適用会社でありました。

本件株式交換の実施に伴う石原産業への今期の連結業績への影響は軽微であると考えております。

以上